

# 各地の大根の生育状況

## 鹿児島県立市来農芸高等学校3年

### 田上 真盛 ・ 宮里 春香

#### 1. 課題設定の理由

市来農芸高校では、これまでの日々の学習の中で多くの野菜を栽培・管理・収穫・販売まで行ってきた。日本で古くから食用及び栽培されており冬野菜の代表でもあるダイコンの品種多様性に注目し、各地で栽培されている様々な品種を実際に自分たちで計画を立て栽培し、その形態や形質の品種間差について調べたいと思い、この研究に取り組んだ。

#### 2. 栽培品種（9種類）とその特徴

- ①耐病総太り：病気に強く、生育のスピードが早い。
- ②猷夏37号：品質がよく、耐暑・耐病性がある。
- ③源助大根：「金沢の伝統野菜」に認定されておりおでんには日本一と評判がいい。
- ④聖護院大根：カブのような丸いダイコンで、京都の伝統野菜。
- ⑤桜島大根：鹿児島県の特産品でギネスブックに認定された世界一大きい大根。
- ⑥和歌山大根：和歌山の特産の白首大根で品質は最高。
- ⑦出雲おろち大根：出雲原産の辛味大根で、オロシで食べると強烈な刺激がある。
- ⑧重富ハマダイコン：ダイコンの野生化したもので、海岸の砂地に生え、日本および朝鮮半島南部に分布する。
- ⑨守口ダイコン：世界最長のダイコンで、味は辛いとされており、なにわの伝統野菜。

#### 3. 栽培方法

##### ①圃場準備～播種

ダイコンを育てる場所がなかったため校内の外れにある荒れ地を借りることになった。自分たちで荒れ地を畑にし、ダイコンを栽培するためにまず草取りから始めて石を集めた。石集めが不十分だと、大根が成長した時に曲ってしまうため念入りに行った。

除草終了後、先生にトラクターで耕運してもらった。その後、ダイコンの種子を直まきで二条播きと千鳥播きで播種した。

##### ③播種日

生育状況を比較するために、全ての大根を8月24日に播いた。

##### ④守口ダイコンの栽培方法

守口ダイコンは世界最長の大根であり、長さは120cm、最大は150cm以上で200cm近くまで成長することがあります。そこで、他の大根とは別に次の3つの条件で栽培することにした。

- ア. 一般的な方法
- イ. 深さを変えた方法
- ウ. 塩ビパイプを使った方法



#### 4. 収穫したダイコン

桜島ダイコン



聖護院ダイコン



対病総太り



献夏37号



和歌山ダイコン



源助ダイコン



重富ハマダイコン



出雲おろちダイコン



#### 5. 結果と考察

播種後の日数と葉の大きさの関係を示す。成長は『耐病総太り』が最も早く、よく品種改良されていることが改めて確認できた。『献夏37号』は2番目に成長が早く、やはり、よく品種改良がされていることが確認できた。

各地の地大根のほとんどは成長が遅く、害虫の被害など、成長初期段階の管理が非常に難しかった。地大根の中では源助大根が最も成長が早く、育てやすかった。

守口ダイコンについては3種類の方法で栽培したが、害虫の被害など、栽培が難しく成長したのは塩ビパイプを使った1株のみであった。この1株は交配実験に使う予定であるため、収穫はしなかった。

桜島大根は肥料が切れるとすぐに成長が止まってしまった。追肥をするとまた急激に成長し、しばらくして肥料が切れるとまたすぐに成長が止まった。このことから、桜島ダイコンは他のダイコンよりはるかに肥料要求性が高いことが分かった。

